



“地域のことは地域で考えよう”

2013年7月30日

## おきぎん県内景況・速報 2013年6月

— 県内景況は、拡大の動きがみられる —  
2013年5月に上方修正後・判断維持

### ■ 個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高も前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

### ■ 建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントともに前年同月を上回る。

### ■ 観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回る。  
観光施設入場者数は前年同月を上回る。

### ■ 企業倒産

件数、負債総額ともに前年同月を上回る。

**現場主義とお客様からの信頼**

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2013年6月分)



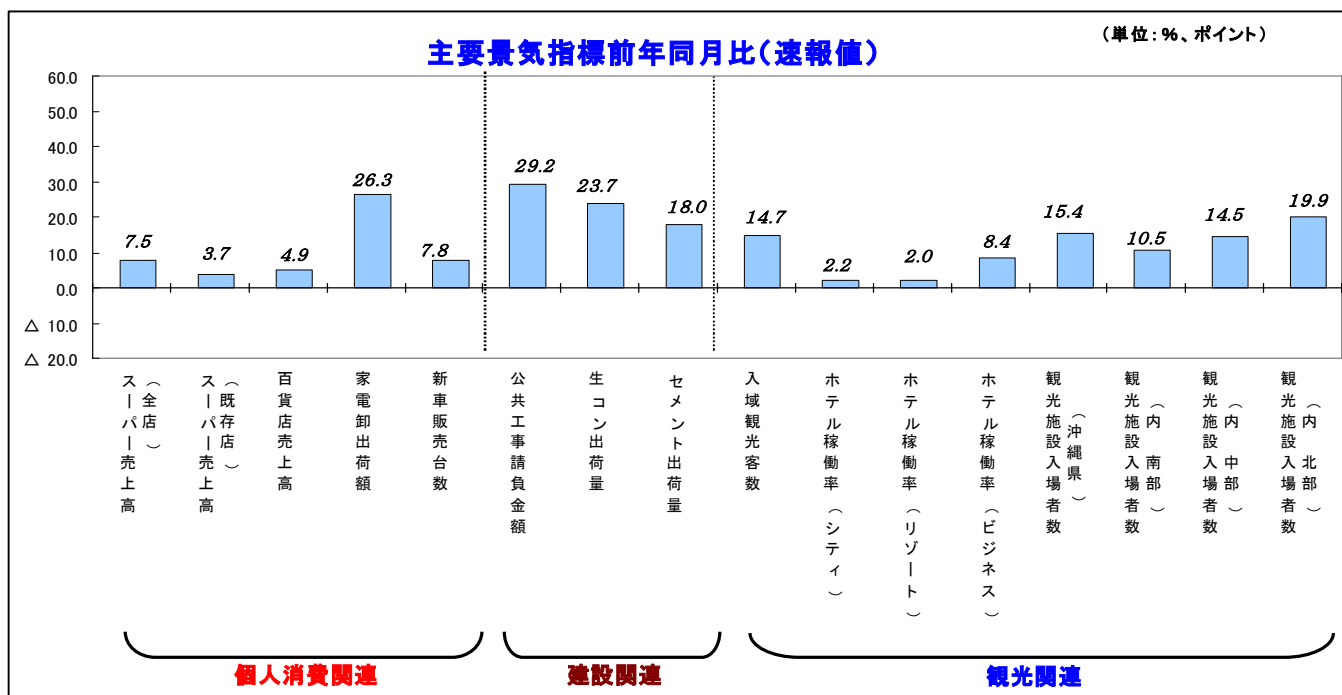
◎概況：県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要などにより上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は国やその他公的団体発注による工事増加等から前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントもともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は9カ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

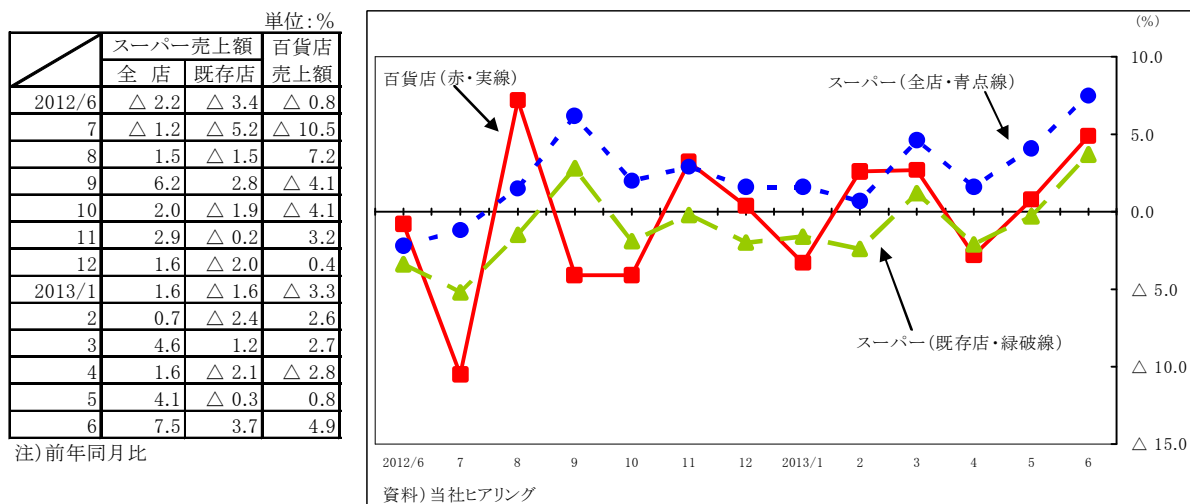
このような状況に鑑みると、「県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる」と景気判断を据え置きました。(2013年5月に上方修正)





## ■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースとも前年同月上回る。百貨店売上高も前年同月上回る。



6月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 7.5%増)」が11ヵ月連続で前年同月上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 5.5%増)」や「衣料品(同 10.5%増)」、「家庭用品(同 14.2%増)」が前年同月上回りました。

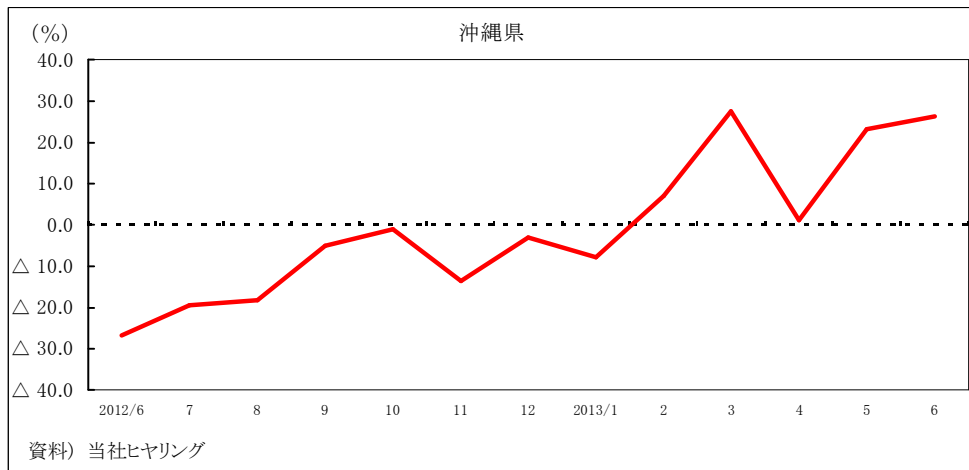
「既存店ベース(同 3.7%増)」では3ヵ月ぶりに前年同月上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 2.1%増)」において、今年は昨年よりも日曜日の回数が1日多かったことに加え、台風の影響が無かった(昨年:台風4号襲来)ことなどから前年同月上回りました。「衣料品(同 4.8%増)」は、昨年より梅雨明けが早く、真夏日が続いたことなどから夏物衣料の売れ行きが好調で前年同月上回りました。家電を含む「家庭用品(同 9.3%増)」は、エアコンや冷蔵庫などの白物家電の売れ行きが好調で前年同月上回りました。

**百貨店売上高**は、衣料品や身の回り品などの売れ行きが好調で、2ヵ月連続で前年同月上回りました(同 4.9%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 9.5%増)」は、「婦人服(同 10.8%増)」が天候要因による夏物衣料需要に加えて、新規セールスの開催などにより前年同月上回りました。「紳士服(同 8.2%増)」や「子供服(同 3.2%増)」も前年同月上回りました。「雑貨(同 4.2%増)」、「身の回り品(同 15.6%増)」も販促強化が奏功し前年同月上回りました。「食料品(同 0.5%増)」も、新規セール開催の相乗効果などにより食料品催事が好調で、前年同月上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位:%

	沖縄県
2012/6	△ 26.8
7	△ 19.5
8	△ 18.3
9	△ 5.0
10	△ 1.0
11	△ 13.6
12	△ 3.0
2013/1	△ 7.8
2	7.0
3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3



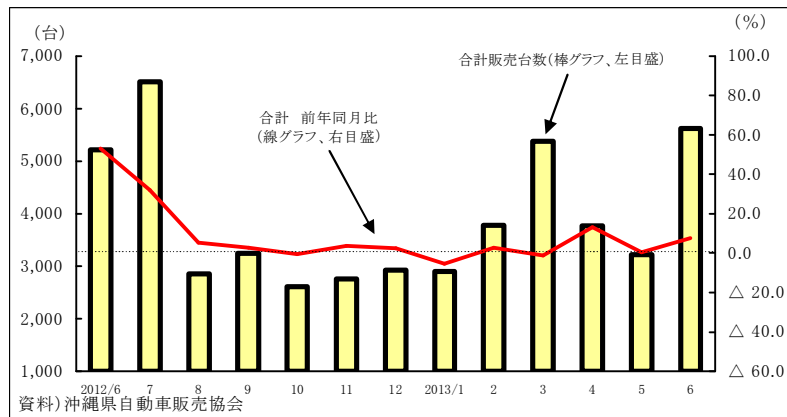
注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、継続的な太陽光パネルの需要などにより、5 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 26.3%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 71.6%増)」は、2012 年 7 月 1 日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 25.4%増)」は、昨年より梅雨明けが早く、気温が高かったことなどから前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同 31.3%増)」や「洗濯機(同 0.4%増)」も前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 15.5%減)」や「DVDレコーダー(同 35.5%減)」は、アナログ放送終了(2011 年 7 月 24 日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました

③新車販売台数…レンタカー需要などにより前年同月を上回る。

単位:台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/6	5,212	53.2	23.0	46.1	76.7
7	6,511	32.1	41.3	9.7	75.7
8	2,856	5.3	12.9	△ 12.9	24.3
9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 5,620 台となり、3 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 7.8%増)。レンタカー需要などにより「普通乗用車(同 30.9%増)」が 2 ヶ月連続、「小型乗用車(同 27.0%増)」が 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。一方、エコカー補助金制度終了(2012 年 9 月 21 日)の影響などにより、「軽乗用車(同 13.4%減)」は 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

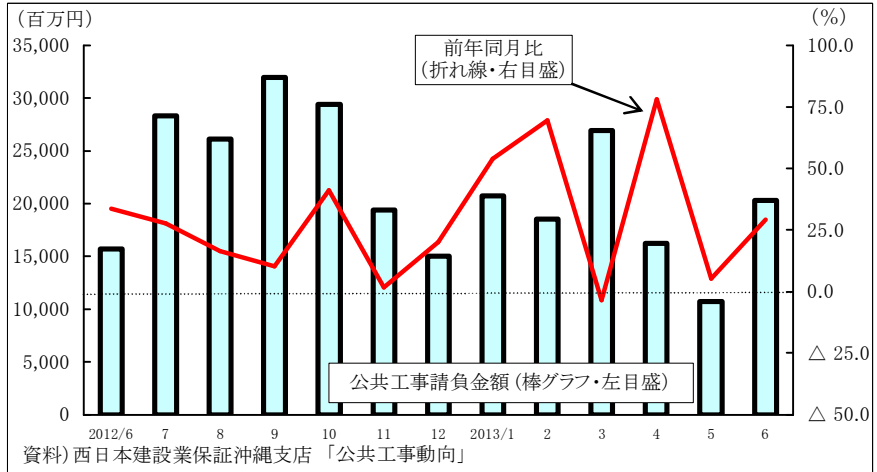


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位: 百万円、%

	請負金額	前年同月比
2012/6	15,723	33.7
7	28,340	27.8
8	26,136	16.6
9	31,974	10.2
10	29,432	41.3
11	19,400	1.7
12	14,996	20.2
2013/1	20,766	54.0
2	18,588	69.6
3	26,905	△3.6
4	16,255	78.3
5	10,742	5.3
6	20,318	29.2

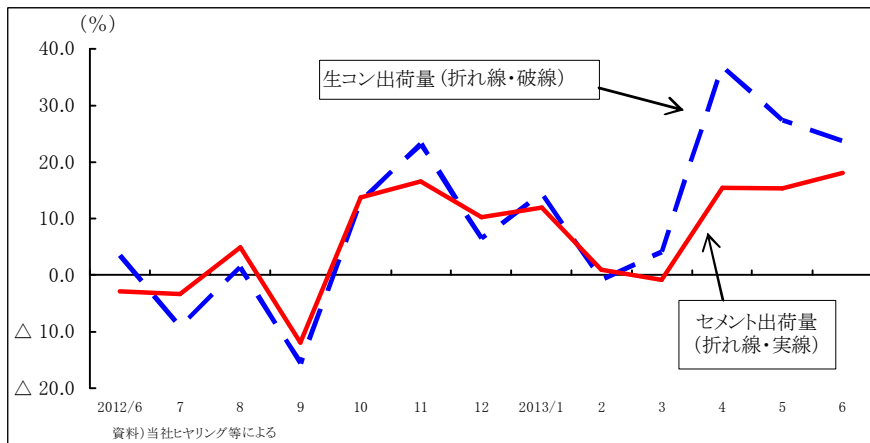


6月の公共工事請負金額は、前年同月比29.2%増の203億1,800万円となりました(3ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同90.1%増)」は沖縄防衛局発注による基地関連工事、「その他の公的団体(同18.0%増)」は軽自動車検査協会の事務所新築工事などにより前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同22.5%減)」や「沖縄県(同21.3%減)」、「市町村(同0.1%減)」は前年同月を下回りました。

②建設資材…生コン、セメントともに前年同月を上回る。

単位: 前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2012/6	3.5	△2.9
7	△9.1	△3.4
8	1.3	4.9
9	△15.6	△12.0
10	13.1	13.7
11	23.2	16.5
12	6.4	10.2
2013/1	14.3	11.9
2	△0.8	0.9
3	4.1	△0.9
4	36.9	15.4
5	27.4	15.3
6	23.7	18.0



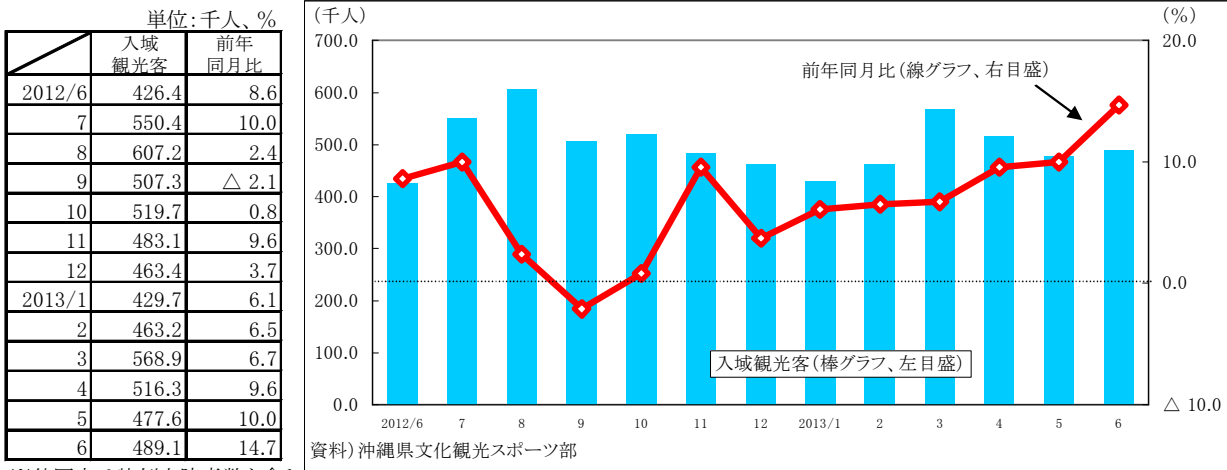
(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は23.7%増加し、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より12.2%増加し、民間工事向け出荷も28.4%増加しました。セメントの出荷量は18.0%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連: (やや良い)

①入域観光客数…9ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

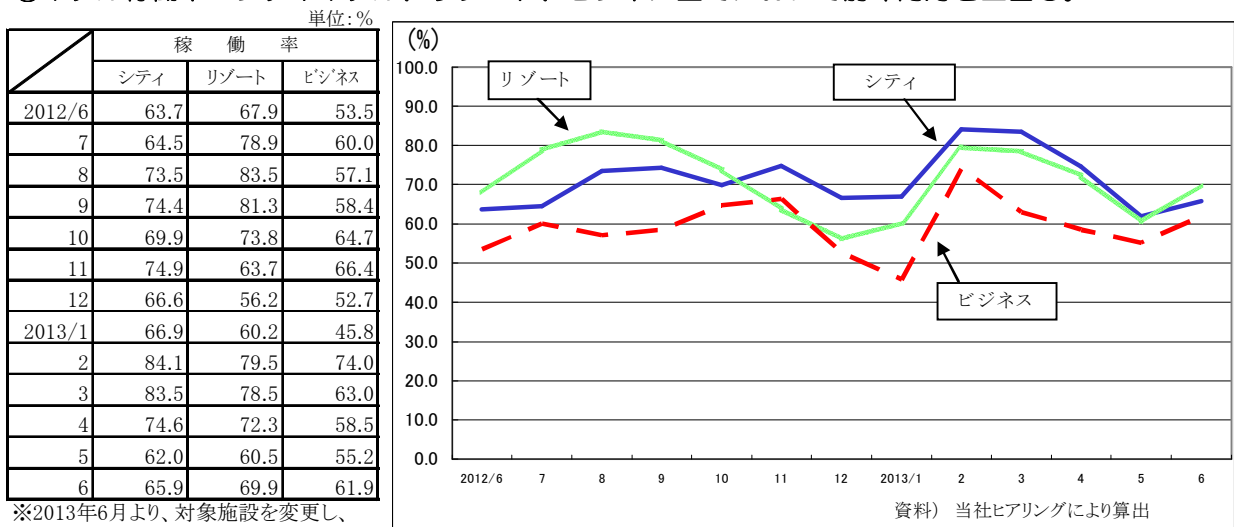
6月の入域観光客数は、前年同月より14.7%(62,700人増)多い489,100人となり、国内外ともに増加し9ヵ月連続で前年同月を上回りました(6月としては過去最高)。内訳をみると、「国内客(同8.9%増)」は新石垣空港の開港効果などにより前年同月を上回りました(9ヵ月連続)。特に、「関西方面(同19.6%増)」が大きく上回り、他主要路線においても好調に推移しました。

他方、「外国客(同79.6%増)」は、62,500人(27,700人増)となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。「中国本土(同24.1%減)」は弱い動きが続くものの、航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄港などにより「台湾(同99.3%増)」「韓国(同190.9%増)」「香港(同35.8%増)」は前年同月を上回りました。

※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※ 特例上陸者を除く2013年6月実績=全体480,300人(同13.9%増)、外国客53,700人(同78.4%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネス全てにおいて前年同月を上回る。



※2013年6月より、対象施設を変更し、2012年6月以降の数値を遡って改定した。  
※対象ホテル数=シティ9、リゾート18、ビジネス7

※公表後に改定する場合があります、最新公表資料が確定値となる。

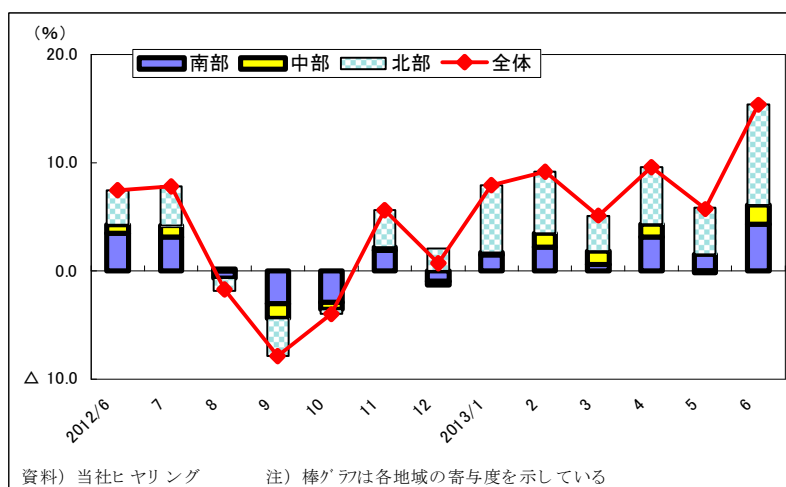
県内ホテル稼働率は、シティホテルが65.9%と2.2ポイント上昇(5ヵ月連続)、リゾートホテルが69.9%と2.0ポイント上昇(6ヵ月連続)、那覇市内ビジネスホテルが61.9%と8.4ポイント上昇(16ヵ月連続)しました。

※2013年6月より調査対象カテゴリーを、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルに変更した。

③観光施設入場者数…8カ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/6	7.5	8.5	6.5	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.5	14.5	19.9

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



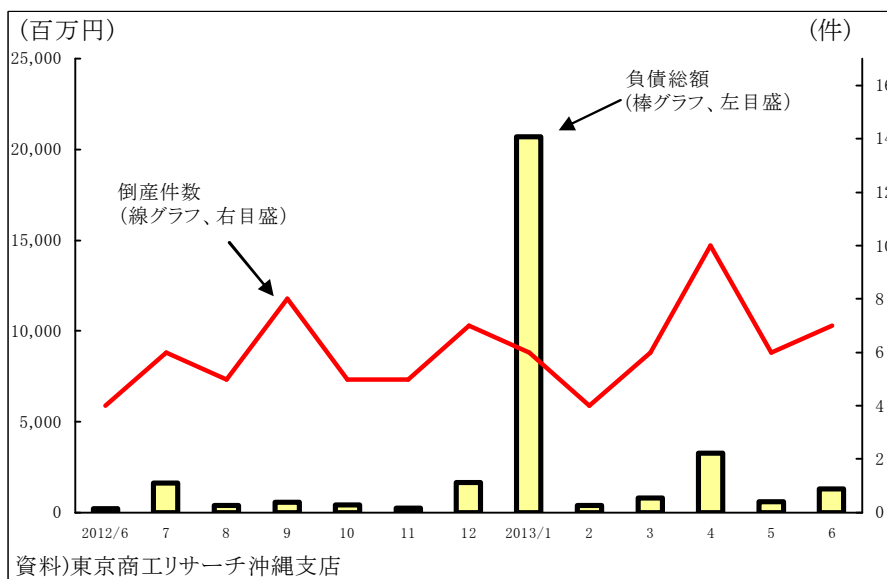
観光施設入場者数は、全体で前年同月より15.4%増加(8カ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同10.5%増と6カ月連続、中部は同14.5%増と2カ月ぶり、北部は同19.9%増と8カ月連続で前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつつ)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。

	単位:百万円、件	
	負債総額	倒産件数
2012/6	207	4
7	1,630	6
8	405	5
9	578	8
10	428	5
11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6
2	406	4
3	813	6
4	3,295	10
5	603	6
6	1,320	7



6月の企業倒産件数は、7件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より3件多くなりました。負債総額は13億20百万円と前年同月の約6.4倍となりました。